

エル・ネット「オープンカレッジ」 News

VOL.6 2001.6.15 発行

発行：高等教育情報化推進協議会 東京都港区虎ノ門1-17-1視聴覚ビル内 TEL：03-3591-2186 URL：<http://www.opencol.gr.jp>

IT時代のオープンカレッジ

— 受講者のニーズに応じた手段を —



文部科学省生涯学習政策局
学習情報政策課長

尾崎 春樹

1 政府のIT戦略とエル・ネット

昨今、IT革命などと言われ、IT（情報通信技術）が大はやりです。そして、ややもすれば「IT=コンピュータとインターネットのこと」と早合点されているように見えます。確かに、政府が現在積極的に進めている教育・学習の情報化戦略では、各学校・教室や公民館・図書館などにコンピュータを導入しネットワーク接続することが重要な施策となっています。

しかし、もちろんITはインターネットに限られるものではなく、政府の

定めた「e-Japan重点計画」の中で、「衛星通信を活用して提供される情報・研修番組や学習番組等が全国で受信できるなど生涯学習の振興に資するために必要な受信設備の配置を行えるようにする。」と記述されているところです。

2 オープンカレッジの利点と将来性

さて、エル・ネット「オープンカレッジ」は、いうまでもなく、衛星通信を活用した大学公開講座ですが、4月末現在、公民館・図書館・学校など1650を越える受信施設において受講され、受信施設の数も着実に増加してい

ます。

通信環境について言えば、インターネットの接続環境は毎年のように改善されていますが、それでも、例えば小・中・高等学校等の各教室でインターネットを活用する際に、現在のエル・ネットの6MBPSという通信速度を実現するのは、今から5年たっても容易ではないでしょう。

なお、アメリカの遠隔教育の主流は、通信衛星からインターネット活用に移りつつあるようですが、アメリカでは、講座による単位取得を昇格や転職に生かす人が多勢であるのに対し、日本では、資格取得のためや楽しみ・生きがいのためなど、多様な目的の受講者が存在し、オープンカレッジのようなグループ学習型の通信衛星方式は、日本の現状に即しているように思われます。ただ、オープンカレッジでも、質問をeメールで集めたりしていますが、受講者のニーズに応じてその時点で最適と思われる手段を柔軟に取り入れていく発想が重要かと思います。

講座紹介

筑波大学

『家庭と地域の教育力』第1回「子どもの社会力を育てる」

●8月7日（火）門脇 厚司（筑波大学教授）

近年、家庭における「児童虐待」などが問題化しているとともに、子育てのあり方が大きく問われています。平成12年度に放送されたエル・ネット「家庭教育セミナー」（国立婦人教育会館）は、このような家庭教育に関する学習機会を提供してきました。（今年度、再放送の予定。）今年度は、地域における教育力低下の問題も含め、『家庭と地域の教育力』（4回シリーズ）をエル・ネット「オープンカレッジ」で放送します。

第1回目の「子どもの社会力を育てる」は、『子どもの社会力』の著者である門脇厚司教授に、「社会力」とは何かについて解説していただきます。そして、変容してきた現代社会を背景に、子どもたちの社会力が衰弱している原因を探ります。さらに、人と人がつながりながら社会をつくっていくために、家庭や地域の中で、どのようにして子どもたちの社会力を育てたらよいのか、考えていきます。

家庭や地域社会という視点から、いかに子どもたちの教育に関わっていけばよいのかを理解し、今後のヒントを得ることができる講座内容となっています。

今回は、「情報教育論」をご担当の赤堀侃司先生に、授業内容や授業の展開について、その特色をお聞きしました。

「情報教育論」は、東京工業大学大学院の講義の一環でもあり、全6回のうち4回がエル・ネットで放送されますが、大学院の学生や科目履修生のほか、企業の教育関係者や先生方、一般の方々も対象としています。東工大の学生や科目履修生として申請していれば、単位を取ることができます。各回のテーマは、①情報リテラシー、②インターネットの教育利用、③高等学校の教科「情報」、④情報教育の支援体制、となっています。

内容的には、情報リテラシーのことから、その活用の仕方までを、一通り学ぶことができる構成となっています。

「情報教育論」の内容は、メディアの多様化を背景に、現実に行っている問題を扱うものであり、現代社会にとって必要な課題を多く含んでいます。基礎学問のように、教えられるべき理念や内容があり、その文献が存在し、それらが体系的・構造的に成り立っている、という領域ではありません。つまり、情報教育のあり方について、正解

◆ 教育情報論 ◆ 携帯電話やファックスで インタラクティブ授業 7月24日(火)・25日(水)



東京工業大学教授 赤堀侃司
教育センターでの教員研修に
最適！録画利用もOK

が決まっているわけではないのです。

従って、授業では、情報教育の考え方を、様々な事例（日本、アメリカの各州、イギリス、その他のヨーロッパ諸国などで行われてきた情報教育）を通して考えていきます。その時代背景や文化によって、様々な情報教育のあり方が見えてくるでしょう。そして、今までの学習論やメディア論、情報科学論を手がかりとし、それらと結びつけながら、情報教育の基本的な考え方を理解していくことが、この科目の目標です。

そして、この科目の最大の特徴は、「生」の授業の中で、携帯電話やファックスを最大限利用・活用した授業が展開されることです。単なる質疑応答のみに、これらのメディアが使われるのではなく、授業の最初に先生から提示された問題に答える媒体としても使われます。授業に参加している大学院生や一般の方々の、多様な答えが返ってくることでしょう。そこで出てきた答えや討議された内容をもとにして、様々な情報教育の事例も考え合わせながら、自分の考えをまとめていくことになります。自分なりに考えるトレーニングをして、情報教育についての考えを深めていくことができれば、「情報教育とは何か」という問いに対して、自分なりの答えを見つけることができるのではないのでしょうか。

まさに、最新のメディアを活用したインタラクティブな授業によって、ダイナミックなつながりを感じることができるでしょう。そして、この「情報教育論」の授業自体が、「情報教育」の一つの実践になっていることにも気付くはずですよ。（五十嵐牧子）

—— 今回の番組紹介 ——

URL: <http://www.opencol.gr.jp>
すべての講座の詳細情報が得られます

◆ 奈良教育大学

講座：「やまと」から知的資源の開放—日本・世界—①

テーマ：英語の楽しさ（奥田喜八郎教授）

放送予定：7月3日（火）

“やまと”とは、もちろん日本のこと。この日本から、「知的資源」を発信するには、やはり英語力が必要です。し

かし、「英語が聞き取れない、流暢に話せない」と悩んでいる方は多いと思います。特に、外国人同士が話す英語は、スピードが速く、簡単な英語でさえ聞き取りにくいものです。それは、日本人の聴解力のレベルが低いことに関係しているようです。この講義では、マザーグースの唄を通して、リズムをつかみ、楽しく英語力アップを図ります。

◆ 仙台大学

講座：スポーツと健康福祉①

テーマ：スポーツと転倒予防（橋本 実助教授・小池和幸講師）

放送予定：7月5日（木）

年齢を重ねるにしたがって、「転倒」する危険性が高くなり、それが骨折の原因にもなります。そして転倒をきっかけに、身体の様々な部分が衰えてしまう話も、よく聞

きます。そこで、「転倒」を予防するためには、「うまく」歩くようにしなければなりません。例えば、歩行姿勢、バランス能力、脚力、柔軟性などを改善することで多くの転倒を予防することができるのです。この講義では、骨粗鬆症や転倒しやすい人の運動能力を見る方法を知り、正しい歩き方や、転倒予防に役立つ運動・スポーツについて学びます。

◆ 中央学院大学

講座：ホームページ作成入門①②

テーマ：①「メモ帳」を用いたホームページ作成（高橋 律講師）

②ホームページから公開まで（ 〃 ）

放送予定：①7月7日（土） ②7月21日（土）

インターネットの普及により、ホームページを日常生活において利用することが多くなってきています。ホームページ

を「見る」だけではなく、自分で自分のホームページを作成し、発信してみたいと思いませんか。しかし、ホームページを作成するのは難しそうだし、何に注意しなければならないのかわからない、という方も多いはずですよ。本講座は、ホームページ作成に興味はあるけれども、経験はない、という初心者向けの講座です。「メモ帳」を使った簡単なホームページの作成とその公開までを学ぶことができます。

◆早稲田大学

講座：カウンセリング講座①②

テーマ：①カウンセリングのねらいと基本（高塚雄介教授）
②カウンセリングと心理療法（ 〃 ）

放送予定：①7月7日（土） ②7月21日（土）

現代ほど、「心」について考えられている時代はないかもしれません。学校や家庭、職場でおこる様々な問題によっ

て、ストレスを抱え込んでいる人が多くなっています。それに対応する方策として、最近は特にカウンセリングが目されるようになりました。しかし、カウンセリングは、それを安易に考えたり、行動したりしてはならないものです。本講座では、現代の社会背景やカウンセリングについての基本的な考え方・取り組み方、カウンセラーとなるための学習課題とその方法などを学びます。

◆十文字学園女子大学

講座：女性と情報①

テーマ：なぜ女性と情報か（橋本ヒロ子教授）

放送予定：8月10日（金）

新聞やテレビ、インターネットなどによって流れてくる様々な情報の作り手が、「男性か女性か」ということを考え

たことはありますか。情報の作り手が、男性か女性かによって、情報にあらわれてくる視点が違ってきます。日本は、先進国の中でも女性の社会進出が遅れていると言われていますが、このような女性と情報との関係が影響しているようです。本講義では、このような問題を考え、解決するための方策を提言します。

◆流通経済大学

講座：ネットワーク社会における商業と物流①

テーマ：中高年者のための商業経営開業・転業入門（小林憲一郎教授）

放送予定：8月14日（火）

ホテルの予約や航空券を購入するのに、普通はどのような手続きをしますか。インターネットの普及によって、代理店を通さ

ずに購入することが可能になってきました。その他、様々な商品の流通が、インターネットの普及によって大きく変わってきています。代理店を通さずに、商品が消費者へ届くことも増えてきました。このような変化に、経営主体としては、どのような対応をすればよいのでしょうか。本講座では、このような点を主題として、中高年者のための商業経営開業・転業を考えます。

エル・ネット「オープンカレッジ」 7月放送日（予定）

講座の内容、放送の日時は変更されることがあります。ご了承ください。

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
3日 (火)	奈良教育大学 10:00~11:30 『"やまと" から知的資源の開放—日本・世界—』① 「英語の楽しさ」 奥田喜八郎 (奈良教育大学教授)
5日 (木)	仙台大学 10:00~11:30 『スポーツと健康福祉』① 「スポーツと転倒予防」 橋本 実 (仙台大学助教授) 小池 和幸 (仙台大学講師)
6日 (金)	聖学院大学 10:00~11:30 『情報社会と社会原理のゆらぎ』① 「情報革新と市民中心の社会システム—企業社会から市民社会へ—」 富沢 賢治 (聖学院大学教授)
7日 (土)	武蔵野女子大学 10:00~11:00 『21世紀のライフデザイン』①「21世紀の健康」 栗原 文男 (武蔵野女子大学短期大学部教授)
7日 (土)	早稲田大学 14:00~15:30 『カウンセリング講座』① 「カウンセリングのねらいと基本」 高塚 雄介 (早稲田大学総合健康教育センター・臨床心理士)
7日 (土)	中央学院大学 16:00~17:30 『ホームページ作成入門』① 「メモ帳を用いたホームページ作成」 高橋 律 (中央学院大学専任講師)
10日 (火)	奈良教育大学 10:00~11:30 『"やまと" から知的資源の開放—日本・世界—』② 「開かれた学校の自己評価」 八尾坂 修 (奈良教育大学教授)
12日 (木)	仙台大学 10:00~11:00 『スポーツと健康福祉』② 「老いと心のケア」 栗木 一博 (仙台大学助教授) 梶原 ユキ (仙台大学講師)
13日 (金)	聖学院大学 10:00~11:30 『情報社会と社会原理のゆらぎ』② 「情報革新と変貌する金融市場」 柴田 武男 (聖学院大学助教授)
17日 (火)	奈良教育大学 10:00~11:30 『"やまと" から知的資源の開放—日本・世界—』③ 「奈良の仏教美術—興福寺の阿修羅像—」 山岸 公基 (奈良教育大学助教授)
19日 (木)	仙台大学 10:00~11:00 『スポーツと健康福祉』③ 「スポーツと社会福祉」 富田 恵子 (仙台大学教授)

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
21日 (土)	武蔵野女子大学 10:00~11:00 『21世紀のライフデザイン』② 「少子高齢社会を生きる」 工藤 由貴子 (武蔵野女子大学短期大学部助教授)
21日 (土)	早稲田大学 14:00~15:30 『カウンセリング講座』② 「カウンセリングと心理療法」 高塚 雄介 (早稲田大学総合健康教育センター・臨床心理士)
21日 (土)	中央学院大学 16:00~17:30 『ホームページ作成入門』② 「ホームページ作成から公開まで」 高橋 律 (中央学院大学専任講師)
24日 (火)	東京工業大学 10:40~12:10 『情報教育論』① 「情報とリテラシー」 赤堀 侃司 (東京工業大学教授)
24日 (火)	東京工業大学 13:20~14:50 『情報教育論』② 「インターネットの教育利用」 赤堀 侃司 (東京工業大学教授)
25日 (水)	東京工業大学 10:40~12:10 『情報教育論』③ 「高等学校の教科「情報」」 赤堀 侃司 (東京工業大学教授)
25日 (水)	東京工業大学 13:20~14:50 『情報教育論』④ 「情報教育の支援体制」 赤堀 侃司 (東京工業大学教授)
26日 (木)	仙台大学 10:00~11:00 『スポーツと健康福祉』④ 「高齢者の生き生きスポーツライフ」 鈴木 省三 (仙台大学助教授)
27日 (金)	聖学院大学 10:00~11:30 『情報社会と社会原理のゆらぎ』③ 「情報・知識社会と21世紀の日本経済」 鈴木真実哉 (聖学院大学助教授)
31日 (火)	山梨県立女子短期大学 10:00~11:30 『ジェンダー・フリーの子育て・保育を考える』① 阿部真美子 (山梨県立女子短期大学教授) 池田 充裕 (山梨県立女子短期大学助教授) 沢登美美子 (山梨県立女子短期大学教授) 池田 政子 (山梨県立女子短期大学助教授)

URL: <http://www.opencol.gr.jp>

ですべての講座の詳細情報が得られます

お詫び：先にお送りした「平成13年度エル・ネット「オープンカレッジ」パンフレット中の、東京工業大学と横浜国立大学の講座名が入り替わっていました。ここに訂正してお詫び致します。（事務局）

エル・ネット「オープンカレッジ」 8月放送日（予定）

講座の内容、放送の日時は変更されることがあります。ご了承ください。

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
2日 (木)	専修大学 10:00~11:30 『インターネットを活用する』① 「インターネットで生活が変わる」 松永 賢次（専修大学助教授）
3日 (金)	聖学院大学 10:00~11:30 『情報社会と社会原理のゆらぎ』④ 「環境情報と生命圏のサバイバル」 村上 公久（聖学院大学助教授）
4日 (土)	武蔵野女子大学 10:00~11:00 『21世紀のライフデザイン』③ 「暮らしと文化財」 河津 優司（武蔵野女子大学短期大学部教授）
4日 (土)	淑徳大学 14:00~15:30 『江戸の光と影～近松、南北、そして黙阿弥～』① 「近松について」 渡邊 保（淑徳大学教授）
4日 (土)	中央学院大学 16:00~17:30 『民法入門』① 「誰が相続人になるのか」 宇都宮充夫（中央学院大学教授）
7日 (火)	筑波大学 10:00~11:30 『家庭と地域の教育力』① 「子どもの社会力を育てる」 門脇 厚司（筑波大学教授）
9日 (木)	専修大学 10:00~11:30 『インターネットを活用する』② 「インターネットを支える技術」 松永 賢次（専修大学助教授）
10日 (金)	十文字学園女子大学 10:00~11:00 『女性と情報』① 「なぜ女性と情報か」 橋本ヒロ子（十文字学園女子大学教授）
14日 (火)	流通経済大学 10:00~11:10 『ネットワーク社会における商業と物流』① 「中高年者のための商業経営開業・転業入門」 小林憲一郎（流通経済大学教授）
16日 (木)	専修大学 10:00~11:30 『インターネットを活用する』③ 「インターネットを活用したビジネスの仕組み」 松永 賢次（専修大学助教授）

日付	実施大学／時間／講座名／回数／テーマ／講師
17日 (金)	十文字学園女子大学 10:00~11:30 『女性と情報』② 「メディアリテラシー」 亀田 温子（十文字学園女子大学教授） 松本侑子（十文字学園女子大学教授）
18日 (土)	武蔵野女子大学 10:00~11:00 『21世紀のライフデザイン』④ 「安全なくらし」 伊村 則子（武蔵野女子大学短期大学部講師）
18日 (土)	淑徳大学 14:00~15:30 『江戸の光と影～近松、南北、そして黙阿弥～』② 「南北と黙阿弥」 渡邊 保（淑徳大学教授）
18日 (土)	名古屋商科大学 16:00~17:30 『グローバル化と経済成長』① 「経済のグローバル化と政策課題」 今井 亮一（名古屋商科大学助教授）
21日 (火)	流通経済大学 10:00~11:00 『ネットワーク社会における商業と物流』② 「インターネットとマーケティング」 中村 博（流通経済大学助教授）
23日 (木)	専修大学 10:00~11:30 『インターネットを活用する』④ 「ネットワーク社会の問題点と課題」 松永 賢次（専修大学助教授）
24日 (金)	広島大学 10:00~11:00 『放射線の生物影響』① 「放射線の生物影響の特徴」 鈴木 文男（広島大学教授）
28日 (火)	流通経済大学 10:00~11:15 『ネットワーク社会における商業と物流』③ 「電子商取引の進展とロジスティクス」 矢野 裕児（流通経済大学助教授）
30日 (木)	中部大学 10:00~11:00 『異文化コミュニケーション』① 「腹芸の研究＝日本的ノンヴァーバル・ランゲージ」 小中陽太郎（中部大学教授）
31日 (金)	広島大学 10:00~11:00 『放射線の生物影響』② 「原爆被爆者の健康度」 早川 式彦（広島大学教授）

◆テキスト申込書◆

※テキストはホームページ（URL:<http://www.opencol.gr.jp>）からPDFファイルでダウンロードすることも可能です。

ふりがな ご氏名	電話	—	—	FAX	—	—
ふりがな ご住所 〒						Eメールアドレス

■開 講 平成13年7月～平成14年2月 46大学/52講座 ■受講料 無料

■テキスト代 実費（送料別）。ただし1講座につき100名までモニターとして無料（送料共）となります。モニターは受講後、簡単なアンケートにお答えいただけます。

●受講希望の大学名・講座名・回数をご記入ください。テキストは実施講座ごとに作成します。（講座の全ての回を希望する場合は全回とご記入下さい）

大学名	講座名	回数
<input type="text" value="大学"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="回"/>
<input type="text" value="大学"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="回"/>
<input type="text" value="大学"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="回"/>
<input type="text" value="大学"/>	<input type="text"/>	<input type="text" value="回"/>

FAX送付先：03-3595-1297

